

決

三年
画数 7
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆
クソ 江決
オソ ケツ
クソ きりめる 川まる

成り立ち



かんぜんなもの(舟)に手をかけて「こわす(欠く)」ことをあらわした「夬(欠の本字)」と「シ」とを組み合わせて作った字で、こうずいするとき、水のながれをよわめるために、川上のていぼうをこわして水をながすことをあらわした字です。川下をすくうために川上にこうずいをおこすのですから、これを「きめる」のにはよほどのゆう気とかくごがいらいます。それで、このような大事を「きめる」ことを「決」という字であらわしたものです。

〔堤を切り崩すのが本義の字で、「決壊」という用法がこれである。川下の氾濫を救うためとはいえ、堤防を決壊するのであるから、これを「決断」というわけである。〕

使い方

▽クラス討論会で、花だんを作ることに決まりました。一班はレンガで、縁どりを作ることに決めました。二班はチューリップの球根をうえることにしました。三班は三色すみれの種をまくことに決まりました。どんな花だんができるか、楽しみます。

▽ぼくは、いちど決めたことは、めったに変えませんが、変えるとき、いろいろと、つごうのわるいことが、おきってくるからです。

熟語例

▽決定(決め定めること。はつきりと決めること。「遠足は十月十五日と決定しました」などというふうには、つかいませぬ。)

▽決心(心を決めること。こうしよう、とか、ああいうことはしない、とか、はつきり心の中で決めること。「そんなに固く決心したのなら、もうなにもいわないよ」などというふうには、つかいませぬ。)

▽採決(会議で、反対か賛成かを決めること。「採決の結果、提案どおり、花だんを作ることに決まりました」などというふうには、つかいませぬ。)

使い方

▽砥石で研ぐのはたいへんですが、研磨機をつかうとだれでもかんだんに研げます。

▽ぼくのお父さんは研究所で研究していますが、おじさんは研修所で研修しています。

熟語例

▽研磨機(はものを研いだり磨いたりする機械)

▽研磨(はものを研いだり磨いたりすること。また、学問を研究したり技術をふかめたりすることに力を入れることをいいます。)

▽研究(まだよくわからないものごとをふかくしらべ明らかにすること。また、ものごとの道理や本質をつきとめること。)

▽研修(学問や技芸を身につけるため学習すること。しごとをする能力を高めるためによくべつに学習することをいいます。研究が、まだ明らかにされていないものごとをしらべるのたいし、研修は、すでに明らかにされているものごとを学習するものです。)

研

三年
画数 9
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈
クソ ケン
クソ といぐ

成り立ち



「竿」という字の元の字の「干」をそろえならべた形をあらわし、きちんと「と」のえる「いみをあらわした「干」と、「砥石」のいみの「石」とを組み合わせて作った字です。「はものを砥石で「研ぎ」、されるようにとのえる」といういみの字です。砥石で「研ぐ」ことをあらわした字です。

〔旧字体は「研」である。干を二つ並べた干は、カンの音の変化したものである。「間」の音に、カンとケンとあるようなものと思えばよい。〕